

平成23年度耕作放棄地解消事例調査票

NO.

協議会名	邑南町農地利活用推進協議会
平成22年度実施地区名	羽須美地区
地区の農地面積	555.09ha
うち耕作放棄地	28.80ha
ほ場数	4
実証ほ対象面積	51a
地目	<input checked="" type="checkbox"/> 水田 <input checked="" type="checkbox"/> 畑 樹園地
色分け	<input checked="" type="checkbox"/> 緑 <input checked="" type="checkbox"/> 黄色
荒廃の程度・必要な作業	<input checked="" type="checkbox"/> 雑草繁茂 樹木侵入 <input checked="" type="checkbox"/> 人力作業 <input checked="" type="checkbox"/> 農業機械 <input checked="" type="checkbox"/> 重機 その他 ()
荒廃の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢化 労働力不足 <input checked="" type="checkbox"/> 後継者不在 <input checked="" type="checkbox"/> 鳥獣害 その他 ()
取組主体	谷岡良昭、硬迫営農組合
実施期間	平成22年10月上旬～11月中旬
実施事業費	全事業費(1,671,435円) 交付金(938,217円) 県費(366,608円) 市町村費(366,610円) その他(-)
作業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 刈払 <input checked="" type="checkbox"/> 整地 <input checked="" type="checkbox"/> 土壌改良 <input checked="" type="checkbox"/> 定植 <input checked="" type="checkbox"/> 用排水整備 客土 その他()
導入作物	飼料用稲、果樹
出荷先	アグリサポートおーなんを通じて、町内畜産農家、鳥根おち農協や直売施設
取組のきっかけ	所有者の高齢化等により管理されずに荒廃していた田や畑があり、集落内で困っていた。所有者は耕作や管理ができず、近隣や集落内の取組者が再生し利用することに所有者が了解され、町協議会へ相談があった。
調整経緯	取組者が所有者と交渉し、取り組み開始。
現在の状況	谷岡良昭：飼料用稲を作付け 硬迫営農組合：果樹を作付け
今後の計画	H23 H24 H25 H26
その他	(現地写真) 別添

調査対象地区は平成22年度実施地区（平成22年度報告書に記載の地区とする）

特に取り組みのきっかけ、調整経緯、現在の状況については、取り組み実施者から聞き取りをお願いします。

導入作物、出荷先は計画時ではなく今年度の作付状況等を基に記載願います。

現地写真は、再生までの写真と現在活用されている状況（栽培作物等）の写真を添付いただきますようお願いいたします。

(添付様式11-1別添1)
作業写真整理帳

再生作業

No

2

取組主体名	峯迫営農組合
地区名	羽須美
ほ場番号	2

撮影年月日	平成22年7月29日
-------	------------



撮影年月日	平成22年11月8日
-------	------------

作業内容	除草、低木等切り倒し後、バックホーにより抜根処理。 その後、排水を良くするため土側溝掘削や表土整形を実施。
------	--



撮影年月日	平成22年11月17日
-------	-------------

注: 定点で実施前・中・後の3枚を添付するものとする。



(添付様式11-1別添1)
作業写真整理帳

土壤改良

No

2

取組主体名 岨迫宮農組合

地区名 羽須美

ほ場番号 2

撮影年月日 平成22年11月17日



撮影年月日 平成23年3月8日

作業内容

定植した苗木の周りに
バーク堆肥を散布。



撮影年月日 平成23年3月8日

注: 定点で実施前・中・後の3枚
を添付するものとする。

